目次

I　学生諸君へ……1

新入生諸君に（I）　2

新入生諸君に（II）――人間のための工学　4

化学の勉強は楽しいか　11

理科系の学生諸君に――卒業論文について　14

平和と自由を願う心　19

日本をまもるために　21

化学徒として考えること　23

「不沈空母」のもたらすもの　25

II 私の化学論……29
化学という学問 30
科学と文学——メダワー教授の『進歩への希望』を読んで 53
化学的世界観は成立するか 70
大学学部の本質の移行について——工学部化学系のカリキュラム 79
III 有機電子論のことなど……91
有機電子論の流れ 92
有機化学と私 110
有機化学の本 114
IV 合成繊維の創製——デュポン社とカローザス……121

V 化学エッセイ……145
質量ということ 146
界面張力をどう理解するか 153
10^{23}という偶然 163
熱の輸送 167
心霊学の出る時代 171
VI 一つの仕事の記録——「無触媒重合」始末記……177
VII 敗戦前後の日記——一九四五年六月〜八月……217
あとがき……231